



MOSCO
MOTOR SPORTS COORDINATE

2026年 JAF 東日本ラリー選手権 第2戦

ラリー・オブ嬬恋

2026年1月31日(土)・2月1日(日)

RALLY GUIDE 1

2026 1.31-2.1

RALLY OF
TSUMAGOI

MOSCO
MOTOR SPORTS COORDINATE



MAKIN
ORANOT

TSUMAGOI

21

TSUMAGOI



001
11-30

2026 JAF East Japan Rally Championship Round 2
RALLY OF TSUMAGOI 2026

主催：浅間モータースポーツクラブ

NPO 法人 MOSCO

Rally of Tsumagoi 2026 大会組織委員会

共催：嬬恋村・嬬恋村モータースポーツ推進機構

【注意】

この書類は案内書として作成されており、規則的な効力はありません。

規則については 2026 年 JAF 国内競技規則およびその付則、2026 年 JAF 日本ラリー選手権規定、Rally of Tsumagoi 2026 特別規則書及び公式通知に従ってください。

◆◆◆◆ 目 次 ◆◆◆◆

1	大会概要	1
	Rally of Tsumagoi 2026について	2
	開催地 嫦恋村について	3
2	オーガナイザーの連絡先	4
	大会事務局、ラリーHQ、	4
	大会役員および競技役員	5
3	プログラム	5
	大会開始前のスケジュール	5
	大会期間中のスケジュール	6
4	エントリー	6-8
5	サービスパーク	8
6	燃料・タイヤ・保険	9
7	レッキ・GPS トラッキング	9-10
8	車検、広告	10-11
9	スタート	11
10	ウエルカムパーティー	11
11	メディア	12
12	クレデンシャルと車両通行証	12
13	観戦エリア	12
-	Appendix 1 アイテナリー	13-14
-	Appendix 2 ルートマップ	15
-	Appendix 3 スタッドタイヤ	16

◆◆◆◆◆ 1 大会概要 ◆◆◆◆◆



競技会名称

Rally of Tsumagoi 2026

競技タイトル

2026 JAF 東日本ラリー選手権 第1戦

競技会の格式

JAF 公認 国内格式 JAF 公認番号 2026-

開催日時

2026年1月30日(金)~2月1日(日)

競技種目

スペシャルステージラリー

SS コース概要

積雪(氷雪路面を含む)

SS 総距離・本数

SS 総距離 約 48.96km SS 数 9 予定

主催: JAF 加盟クラブ 浅間モータースポーツクラブ (ASAMA)

JAF 加盟団体 NPO 法人 MOSCO (MOSCO)

Rally of Tsumagoi 2026 大会組織委員会.

共催: 嫩恋村・嫩恋村モータースポーツ推進機構

協力: (有)ケーアイテーサービスカンパニー・(株)キヤロッセ・(同)サンク・群馬県長野原警察署

(予定) 群馬県中之条土木事務所・嫩恋村議会・嫩恋村商工会・(一社)嫩恋村観光協会・バラギ高原観光協会
浅間高原観光協会・鹿沢温泉観光協会・万座温泉観光協会・ホテル軽井沢1130
JMRC 関東ラリー部会・JMRC 群馬ラリー部会・JMRC 埼玉ラリー部会・他

1.1 Rally of Tsumagoi 2026について

群馬県北西部に位置し、高原キャベツの出荷量で日本一の嬬恋村が舞台。Rally of Tsumagoi は今回で20回目の開催となる四輪自動車によるスピードラリー競技です。どのような気象条件でも開催されるのがラリーの特徴ですが、雪と氷の路面を走行するwinterラリーは日本国内では数少ないものとなっています。

嬬恋村には、冬季間多くの閉鎖された雪上路があります。これらを有効利用し、冬季にラリーを開催することにより、多くの来村者を迎える地域の活性化に取組むとともに、より多くの地元住民の方々にモータースポーツを理解していただきたいと考え、当ラリーは 2007 年に「BICC Snow & Ice Rally 2007」として初開催されました。

2008 年からは、名称を「BICC Rally of Tsumagoi」に変更。2012 年からは「JAF 東日本ラリー選手権」の一戦も併催されるようになり、2016 年には「FIA International Rally of Tsumagoi」へと国内でも数少ない国際格式のイベントへと成長を続けています。長年の開催継続の要因として、大きな労力が必要とされる SS コースの除雪作業など嬬恋村の全面協力があったことは言うまでもありません。

しかし 2020 年は東日本各地に大きな被害をもたらした台風19号の影響により嬬恋村内のいたるところの道路が被害を受けて中止となり、2021 年と 2022 年は新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、開催直前での中止となっていました。

そして 2023 年は、新型コロナウイルスも終息となり、APRC アジアラリー選手権第 1 戦として開催され、APRC では初のスノーラリーの開催となりました。

2026 年は JAF 東日本ラリー選手権、として開催され、Rally of Tsumagoi の原点となる、BICC Rally の開催目標に従い、参加者、オフィシャルが共に楽しめるラリー開催を開催しようと準備を進めてまいります。

Rally of Tsumagoi 組織委員会一同



1.2 開催地 嬬恋村について

嬬恋村は群馬県の西北部に位置し、東は長野原町、草津町に、西・南・北の三方は長野県に接しています。村の東部を除く外周には、浅間山・湯の丸・吾妻山(四阿山)・白根山などの標高2,000m級の山々が連なり、日本の大分水嶺をなしています。

村の中央部を西から東に吾妻川が流れ、集落の大部分はこの流域に散在しています。地質は火山灰土の腐食土壤が多く、高原野菜の適地となっており、特に高原キャベツの出荷量は全国1位です。

気候は高原地帯だけに夏でも涼しく年間の平均気温は8°C前後で、1日の温度差が大きいのが特徴です。特に気温・湿度は避暑に最適であり、軽井沢にまさる避暑地で、最近では浅間高原一帯が一大別荘地としても脚光を浴びています。

嬬恋村の由来は、第12代景行天皇の皇子「日本武尊(やまとたけるのみこと)」の東征中に、海の神の怒りを静めるために愛妻「弟橘姫(おとたちばなひめ)」が海に身を投じました。その東征の帰路、碓日坂(今の鳥居峠)にお立ちになり、亡き妻を追慕のあまり「吾嬬者耶(あづまはや)」(ああ、わが妻よ、恋しい)とお嘆きになって妻をいとおしまれたという故事にちなんで嬬恋村と名付けられました。

嬬恋村はモータースポーツ発祥の地でもあります。戦後が落ち着きを取り戻した1955年、日本における初のビッグイベントとして19メーカー、81台が参加した2輪の第一回全日本耐久オートバイレース(浅間高原/浅間火山レース)が嬬恋村の公道を舞台に開催され、1957年の第二回大会では浅間サーキット(浅間高原自動車テストコース)が舞台となりました。1959年まで続いた「アサマ」は多くのライダー/ドライバーを輩出した語りぐさとなっており、当ラリーでも公道レースに使われた道路を移動区間として、一部だけ姿をとどめる浅間サーキットをSSとして使用したこともあります。

こうした歴史を踏まえ2009年嬬恋村長を代表とし、役場各部署や観光関係団体、村内でモータースポーツを展開する団体が集まり、「嬬恋村モータースポーツ推進機構」を設立。各種事業を通じて健全なモータースポーツの発展と安全運転技術・モラルの向上、環境問題に取り組み、「モータースポーツ発祥の地 嬬恋村」から新たなモータースポーツのあり方を追求するとともに、地域の活性化や交通安全の推進にも寄与することを目的として活動を行っています。



1957年第2回浅間火山レース



1968年高速テスト中の三菱コルト 1000F



2014年モントレーin嬬恋 浅間ステージ



故篠塚建次郎氏と熊川村長



2018年観戦 SS 風景

◆◆◆◆◆ 2 オーガナイザーの連絡先 ◆◆◆◆◆

2.1 大会事務局

Rally of Tsumagoi 大会事務局 (NPO 法人 MOSCO 高崎事務所内)
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2458-13
TEL 027-386-4365 / FAX 027-386-4375
WEB サイト: <http://www.rally-tsumagoi.com>
Eメール: office@rally-tsumagoi.com

2.2 ラリーHQ

ホテル軽井沢1130
〒377-1402 群馬県吾妻郡嬬恋村鎌原1453-2
TEL 027-386-4365 (MOSCO高崎事務所より転送)
WEBサイト: <https://www.karuizawaclub.co.jp/hotel1130/>

2.3 メディア事務局 および 申込方法

メディア事務局 (NPO 法人 MOSCO 高崎事務所内)
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2458-13
TEL 027-386-4365 / FAX 027-386-4375
Eメール: media@rally-tsumagoi.com
「Rally of Tsumagoi」を取材するには、事前登録が必要となります。事前登録は 2025 年 12 月 23 日(火)から 2026 年 1 月 15 日(木)までに「Rally of Tsumagoi WEB サイトのメディアページ」よりご登録下さい。

2.4 オーガナイザー

◆浅間モータースポーツ・クラブ (JAF 加盟クラブ 10008 略称:ASAMA)
〒377-1521 群馬県吾妻郡嬬恋村大字今井96-5
TEL & FAX: 0279-97-4382

◆NPO 法人 MOSCO (JAF 加盟団体 10003 略称:MOSCO)
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2458-13
TEL 0279-97-4382 FAX 0279-97-4382
WEB サイト: <http://www.n-mosco.com> / Eメール: office@n-mosco.com

2.5 大会役員 及び 競技会役員 (予定)

大会役員

大会会長	熊川 栄	(嬬恋村長・嬬恋村モータースポーツ推進機構会長)
大会顧問	渡辺 栄志	(嬬恋村商工会長)
	渡瀬 達生	(バラギ高原観光協会会長)
	佐藤 洋司	(鹿沢温泉観光協会会長)
		岡村 径朗 ((社)嬬恋村観光協会会長)
		村松 哲郎 (浅間高原観光協会会長)
		塚本 亨 (万座温泉観光協会会長)

組織委員会

組織委員長	高桑 春雄	(NPO法人 MOSCO代表理事)
組織委員	西窪 良行	(NPO法人 M.O.S.C.O.)
	小関 高幸	(JAC 会長) 鈴木 博 (NPO法人 M.O.S.C.O.)
		並木 衛 (NPOぐんまラリーネットワーク会長)

審査委員会

審査委員長	小口 貴久	JMRC全国運営委員長
審査員	西井 敏則	JMRC関東ラリ一部会長

競技役員

競技長(COC)	嘉屋 賢二	(MOSCO)
副競技長(DCOC)	後藤 茂行	(MSCC)
競技長補佐(コース)	福村 幸則	(MOSCO)
競技長補佐(リザルト)	山口 昌也	(MOSCO)
競技長補佐(リザルト)	佐藤 忠宜	(MSCC)
技術委員長	織原 敏明	(MSCC)
事務局長	高橋 浩司	(MOSCO)
事務局長補佐	堀口 幹城	(MOSCO)
事務局長補佐	永井 真	
救急委員長	染宮 弘和	
医師団長	大島 正行	
大会医師	TBA	
大会医師	TBA	
リグループ・サービスパーク担当	杉村 卓哉	
コンペティタリレーション(CRO)	川田 輝	

◆◆◆ 3 プログラム ◆◆◆

3.1 大会開始前のスケジュール (予定)

月 日	時間	アイテム	ロケーション
12月15日(月)	9:00	特別規則書発行	https://www.rally-tsumagoi.com
12月15日(月)	9:00~	参加受付開始	entry@rally-tsumagoi.com
		メディア登録申請開始	media@rally-tsumagoi.com
1月15日(木)	21:00	参加受付締切	entry@rally-tsumagoi.com
		メディア登録申請締切	media@www.rally-tsumagoi.com
1月23日(金)	21:00	エントリーリスト発表	https://www.rally-tsumagoi.com
1月25日(日)	19:00	ロードブック・ルートマップ発行	大会事務局

3.2 大会期間中のスケジュール（予定）

月 日	時間	アイテム	ロケーション
1月30日(金)	12:00～18:30	ラリー本部(HQ)開設時間	ホテル軽井沢1130
	12:30	公式掲示板設置	https://www.rally-tsumagoi.com
	12:30～13:00	参加受付	ホテル軽井沢1130
		ロードブック他資料等配布	
	12:30～	サービスパークオープン	ホテル軽井沢1130
	13:00～16:00	レッキ	
	13:30～17:00	メディア受付	ラリーHQ
	13:30～17:00	公式車両検査	ホテル軽井沢1130
	17:00～	第1回審査委員会	ホテル軽井沢1130 審査委員会室
	17:30	スタートリスト発表	https://www.rally-tsumagoi.com
1月31日(土)	8:00～20:00	ラリー本部(HQ)開設時間	ホテル軽井沢1130
	9:00～	LEG1スタート	ホテル軽井沢1130
	17:00頃～	LEG1フィニッシュ、パルクフェルメIN	ホテル軽井沢1130
	19:00～	ウエルカムパーティー	ホテル軽井沢1130
	21:30	パーティークローズ	
2月 1日(日)	7:00～17:00	ラリー本部(HQ)開設時間	ホテル軽井沢1130
	8:00～	LEG2スタート	ホテル軽井沢1130
	14:00頃～	LEG2フィニッシュ、パルクフェルメIN	ホテル軽井沢1130
	14:10頃～	最終車両検査	ホテル軽井沢1130
	15:00(予定)	暫定結果発表	https://www.rally-tsumagoi.com
	15:30(予定)	正式結果発表	https://www.rally-tsumagoi.com
	15:30	表彰式	

◆◆◆ 4 エントリー ◆◆◆

4.1 タイトル

-2026年東日本ラリー選手権 第1戦

4.2 エントリー基準、参加台数

参加台数上限は40台です。

4.3 参加受付期間

参加受付開始 2025年12月15日(月) 9:00より

参加受付締切 2026年 1月15日(木) 19:00まで

4.4 参加申込先

住 所 : 〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2458-13
 名 称 : NPO法人 M.O.S.C.O. ラリー事務局
 Tel : 027-386-4365
 Fax : 027-386-4375
 E-Mail : entry@rally-tsumagoi.com
 URL : <http://www.rally-tsumagoi.com>

4.5 参加申込方法

エントリーはオーガナイザー所定の下記書類に必要事項を記入し、申込み期間中に上記大会事務局にFAX又はE-mailにてお申込みください。(郵送での申し込みは受け付けません)

下記のエントリーフォームの原本は署名し参加受付時に提出してください。

提出書類

- エントリーフォーム一式
- プロモーション情報
- エントリーブックレット/オーダーフォーム一式
- 車検証の写し(日本国内登録車両のみ)
- 車両登録国 ASNが発行するカルネの証明書(海外から一時輸入される車両)
- ラリー競技に有効な自動車保険証券(写し)又は、ラリー保険申込書の控え

4.6 エントリーフリー

全カテゴリー

1台 165,000円 (税込み)

上記費用には、4.7エントリーパッケージの内容が含まれます。

4.7 エントリーパッケージ

	東日本ラリー選手権	その他のクラス	
ロードブック	1	1	
ルートマップ	1	1	
公式プログラム	2	2	
エントラントパス	2	2	
サービスクルーパス	5	5	
サービス車両通行証	1	1	
サービスパークスペース	5m × 5m	5m × 5m	
クルー2名分のウエルカムパーティ参加費用	2	2	

上記記載の書類やパスの追加およびサービススペースの追加はエントリーブックレットに記載し申込み下さい。

4.8 宿泊の手配

チーム員やサービス員がホテル軽井沢1130に宿泊希望の場合はオーダーフォームに宿泊希望日、人数等を記載し
お申込みください。宿泊費用等はオーダーフォームを確認ください。

4.9 エントリーフリーの支払い方法

参加費用、追加宿泊費用、他の支払いは申込と同時に下記銀行口座へお振込み頂くか、下記URLよりクレジットカード
にてお支払い願います。

振込先

【銀行名】群馬銀行

【店名】沼田支店(210)

【預金種目】普通預金

【口座番号】1482223

【口座名義】

トクテイヒエイリカツドウホウジン モスコ
特定非営利活動法人 M. O. S. C. O.

【略称】トクヒ) モスコ

クレジットカード決済は下記URLよりお願いします。

<https://www.n-mosco.com/checkout/>

※ 支払いは日本円のみとし、すべての送金手数料は参加者負担とする。小切手は不可。

4.10 エントリーフリーの返金

エントリーフリーは次の場合返金されます。

1) エントリーが受理されなかった場合(事務手数料 5,000 円を差引返金)

2) ラリーが開催されなかった場合(振り込み手数料を差引全額返金)

但し、ラリー開催15日前以降に大規模な災害等および新型コロナウイル感染拡大等により開催中止とせざ
るをえない状況となった場合は総参加費用の70%を返金します。

3) オーガナイザーは不可抗力(各自のASNにより正当に証明された場合)により出走できなくなった参加者
にエントリー料金の50%を返金します。

◆◆◆ 5 サービスパーク ◆◆◆

5.1 サービスパークについて

サービスパークは、ホテル軽井沢1130に設置されます。

サービスパークの開設は1月30日(金)12:30からオープンします。

5.2 サービスパークでの注意事項

天候により、本ラリーが開催される2月は、氷点下15度を下回る場合が有り、吹雪で強風が吹いたりする場合があ
りますので、対応できる服装準備や強風でサービステント等が飛ばされないような対策をお願いします。

※サービスパークにはゴミ箱の設置は有りませんので、必ずゴミは全てお持ち帰りください。

◆◆◆◆ 6 燃料/タイヤ/車両/保険 ◆◆◆◆

6.1 燃料

公式車両検査終了後からラリーフィニッシュまでの間は、ロードブック内に記載されているオーガナイザーが指定した給油所にて給油することとします。

6.2 タイヤ

6.2.1 タイヤの使用規則は2026年東日本ラリー選手権統一規則に従います。

6.2.2 2輪駆動車で参加車両のみ、スタッドタイヤの使用を認めます。詳細はAppendix 3を参照してください。

6.3 車両に係る規則

本ラリーに参加する車両は、道路運送車両法・道路交通法など日本の国内法規を遵守しなければならず、国際モータースポーツ競技規則付則J項あるいはJAF国内競技車両規則（ライトポット、排気音量、etc.）に合致していなければなりません。

6.3.1 東日本ラリー選手権

2026年日本ラリー選手権規定、第3章に適合する車両。

6.3.2 その他のクラス

XCRスプリントカップ北海道シリーズ規定が定めるXC車両およびSUV車両に加えRB車両。

6.4 保険

競技参加車両（海外登録車両）は自賠責保険及びラリー競技に有効な任意の対人対物保険に加入することとします。

競技用保険

日本国内登録車両は本ラリー競技に有効な任意の対人対物保険に加入しなければなりません。

搭乗者についてはスポーツ安全保険またはJMRC共済制度（見舞金）も可とします。

※競技用保険未加入の方は、当ラリーに有効な関東・東北ラリー共済加入手続きを事務局にて受付しますが

本共済は搭乗者に関しての補償は死亡時のみため、スポーツ安全保険の同時加入を勧めます。

関東・東北ラリー共済の申込はエントリーブックレットに必要事項を記載し申込みください。

◆◆◆◆ 7 レッキ/GPSトラッキング ◆◆◆◆

7.1 レッキ要領

7.1.1 レッキは1月30日（金）オーガナイザーのコントロールの下、出場クルーを対象に行われます。

レッキ受付は参加受付と同時に1月30日（金）12:30～13:00 ホテル軽井沢1130 にて行われ、各クルーはレッキカード及び車両識別カードを受け取ってください。

7.1.3 レッキスケジュールの詳細については特別規則書細則2に従うこととします。

7.2 レッキ車両

本競技に使用する競技車両を除くノーカラーリング車両とします。参加者が各自手配してください。

7.3 レッキ用タイヤ

レッキ走行で使用できるタイヤは、一般車用スノータイヤとします。

7.4 クルーの遵守事項

7.4.1 各クルーはレッキの間、車両識別カードを貼り付けしなければなりません。

7.4.2 各クルーは、各スペシャルステージを2回走行することができます。但し、同じ区間を重複使用するスペシャルステージは1つのステージとして1か所で2回の走行とします。

7.5 交通規制

7.5.1 レッキの間、競技者は交通法規を遵守しなければならず、さらに特別規則書や公式通知で通知されるオガナイザーのいかなる指示にも従わなければなりません。いかなる場合も、他の道路通行者の安全と権利を尊重しなければなりません。オフィシャルはレッキのルート上でレッキ車の動作を目視または計測機器、写真ビデオによって監視することができます。全ての違反は大会審査委員会に報告され、ラリースタート不可までの罰則を課す場合があります。

7.5.2 レッキ中スペシャルステージおよびすべての道路において法定速度を超えてはならない。これに違反した場合は大会審査委員会によって罰則を課します。

7.6 GPS ト racking 装置

セーフティートラッキング

本ラリーでは全車GPSセーフティートラッキングシステムの使用を義務付けとします。

Rally of Tsumagoi ではRally Streamのトラッキングシステムを安全上および円滑な競技進行を行うため、全車本システムを運用できるスマートフォンを用意願います。

◆◆◆ 8 車検、封印とマーキング、広告 ◆◆◆

8.1 公式車両検査について

8.1.1 公式車検の場所と日時

場所： 公式車両検査エリア ホテル軽井沢1130 車検エリア

日時： 2026年1月30日(金) 13:30～17:00

8.1.9 競技車両に搭載する物

非常用停止表示板(三角)2枚、赤色灯、牽引用ロープ、救急薬品、タイヤチェーン、スコップ
A3版の”OK””SOS”カード(車内の取り出しやすい位置に置いておくこと)

8.1.10 車載カメラの取り付け

カメラの取り付けが車体の中側、外側を問わず公式車両検査までに安全な位置に取り付けられていなければなりません。

公式車検時に車検員により許可ステッカーが貼付けされ、許可を受けていない場合の撮影は禁止します。
尚、このカメラで撮影された映像の版権はオーガナイザーに帰属されますので、オーガナイザーに画像の提出を求められる事があります。

8.2 再車検について

8.2.1 再車検の場所と日時

場所：再車検エリア ホテル軽井沢1130
日時：2026年2月1日(日) 14:10頃～

8.3 広告及びラリープレート

8.3.1 ウィンド

屋根を含む車体への広告が許されます。但し、車両のフロントウインドウ上部の広告は日本国外登録車両のみに許されます。広告サイズは、フロントウインドウは上部より高さ10cm、リヤウインドウは上端部より高さ8cmを超えないものとします。

8.3.2 任意広告

オーガナイザーの任意広告を受け入れる参加者は特別規則書 付則4に従って広告スペースを確保しなければなりません。

8.3.3 アルコール及び煙草の広告

日本国内において、ラリーカー及びユニフォームに対する広告に制限はなく、アルコールや煙草に関する広告も同様とします。

8.3.4 ラリープレート及びゼッケン

オーガナイザーはラリープレートとゼッケンパネル一式を支給します。
これらは特別規則書に従って公式車両検査時までに車両に貼り付けなければなりません。
これに違反した場合は罰金54,000円を課します。

◆◆◆ 9 スタート ◆◆◆

日 時 2026年1月31日(土) 1号車 9:00～
場 所 ホテル軽井沢1130 スタートエリア (予定)
方 法 来賓によるスタートフラッグの合図により順次スタートします。
スタート間隔はオフィシャルにより指示されます。

◆◆◆ 10 ウエルカムパーティー ◆◆◆

日 時 2026年1月31日(土) 19:00～
場 所 ホテル軽井沢1130 ダンロ
方 法 来賓およびオフィシャルも参加する立食パーティー
服 裝 チームウェアまたはカジュアル (ラフではありません！)

◆◆◆ 11 メディア ◆◆◆

Rally of Tsumagoi メディア事務局 (NPO 法人 MOSCO 高崎事務所内)

〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2458-13

TEL 027-386-4365 / FAX 027-386-4375

Eメール: media@rally-tsumagoi.com

◆◆◆ 12 クレデンシャルと車両通行証 ◆◆◆

クレデンシャルと車両通行証の詳細はコミュニケーションに示します。

◆◆◆ 13 観戦エリア ◆◆◆

現在調整中

付則 1

International Rally of Tsumagoi 2026 ITINERARY Ver.1.0

07 December 2025

Start (Sections 1 & 2)		Saturday 31 January 2026			(Sunrise 6:49, Sunset 17:10)	
TC	LOCATION	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
0	Start - Hotel karuizawa1130				9:00	
	Start no Refuel. Distance to next refuel	(16.35)	(58.69)	(75.04)		
1	Omae		20.31	20.31	0:45	9:45
SS1	Omae Suzaka 1	5.48				9:48
2	Kadokai		20.62	26.10	0:55	10:43
SS2	Kadokai Panorama 1	5.39				10:46
3	Omae		10.91	16.30	0:40	11:26
SS3	Omae Suzaka 2	5.48				11:29
RZ	Refuel - J A 嬢恋村 干俣SS		[6.85]		(0:43)	(12:12)
1	Distance to next refuel	(10.87)	(50.75)	(61.62)		
3A	Tyre Fitting Service IN		23.53	29.01	1:15	12:44
	Service A (Hotel karuizawa1130)	(16.35)	(75.37)	(91.72)	0:30	
3B	Tyre Fitting Service OUT & Regroup IN					13:14
3C	Regroup OUT				0:15	13:29
4	Kadokai		16.31	16.31	0:40	14:09
SS4	Kadokai Panorama 2	5.39				14:12
5	Omae		10.91	16.30	0:40	14:52
SS5	Omae Suzaka 3	5.48				14:55
RZ	Refuel - J A 嬢恋村 干俣SS		[6.85]		(0:43)	(15:38)
2	Distance to next refuel	(5.48)	(43.83)	(49.31)		
5A*	Tyre Fitting Service IN		23.53	29.01	1:15	16:10
	Service B (Hotel karuizawa1130)	(10.87)	(50.75)	(61.62)	0:45	
5B*	Tyre Fitting Service OUT & Parc Fermé IN					16:55
Note * : Early check-in allowed at TC5A*& TC5B*						
Saturday totals		27.22	126.12	153.34		

Section 1

Section 2

International Rally of Tsumagoi 2026 ITINERARY Ver.1.0

07 December 2025

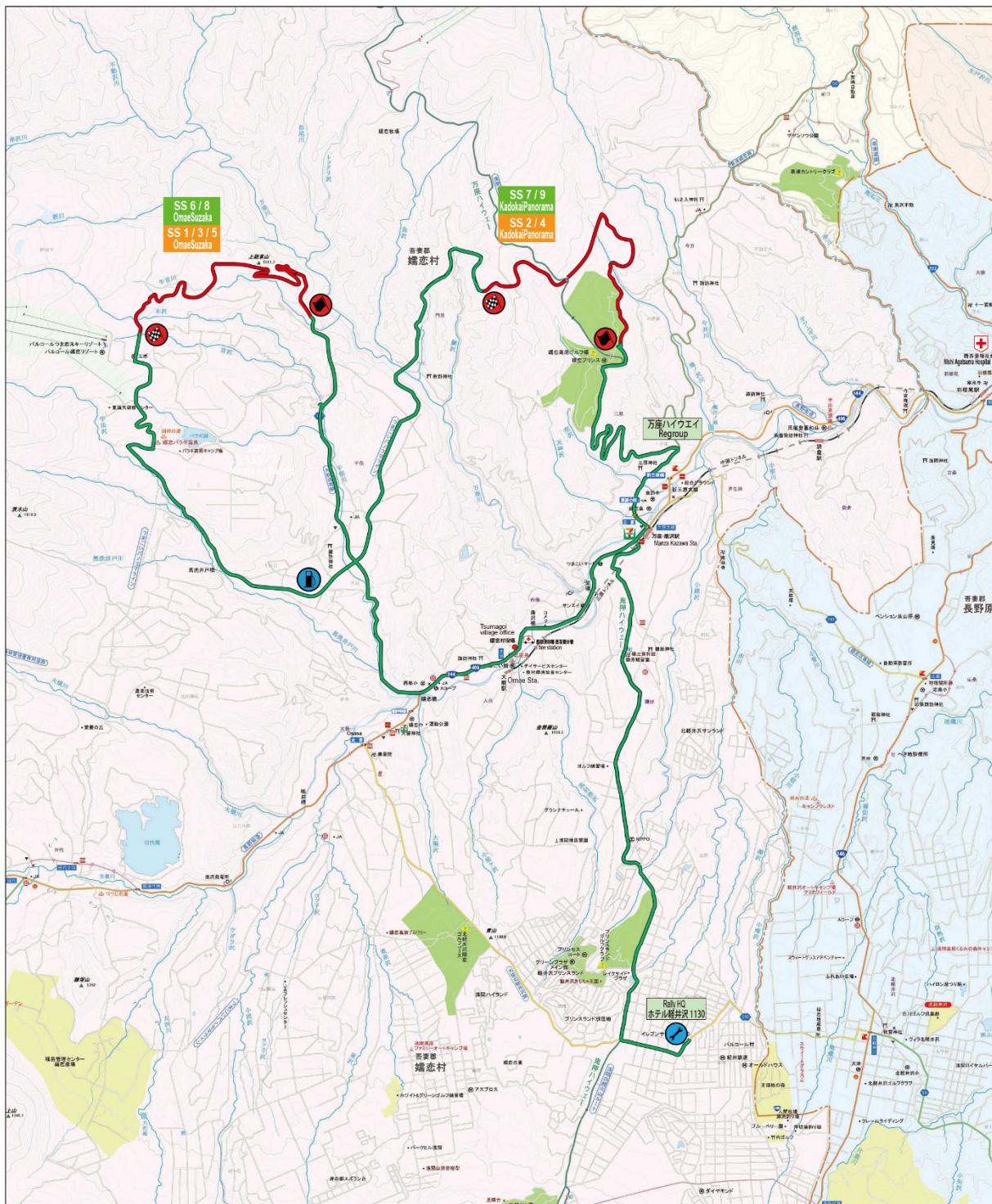
Re-Start (Sections 3 & 4)		Sunday 1 February 2026			(Sunrise 6:48, Sunset 17:11)	
TC	LOCATION	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
5C	Parc Fermé OUT & Tyre Fitting Service IN				8:00	
	Service C (Hotel karuizawa1130)	-	-	-	0:10	
5D	Tyre Fitting Service OUT				8:10	
6	Omae	20.30		20.30	0:45	8:55
SS6	Omae Suzaka 4	5.48				8:58
RZ	Refuel - J A 嬢恋村 干俣SS	[6.85]			(0:36)	(9:34)
3	Distance to finish	(16.26)	(101.99)	(118.25)		
7	Kadokai	20.62		26.10	1:10	10:08
SS7	Kadokai Panorama 3	5.39				10:11
7A	Tyre Fitting Service IN	23.65		29.04	0:55	11:06
	Service D (Hotel karuizawa1130)	(10.87)	(64.57)	(75.44)	0:20	
7B	Tyre Fitting Service OUT & Regroup IN				11:26	
7C	Regroup OUT				0:15	11:41
8	Omae	20.30		20.30	0:45	12:26
SS8	Omae Suzaka 5	5.48				12:29
9	Kadokai	20.62		26.10	0:55	13:24
SS9	Kadokai Panorama 4	5.39				13:27
9A*	Holding IN - Finish (Hotel karuizawa1130)	23.65		29.04	0:55	14:22
	Parc Fermé IN (Hotel karuizawa1130)					(~14:30)
Note * : Early check-in allowed at TC9A*						
Sunday totals		21.74	129.14	150.88		

Section 3

Section 4

Totals of the Rally		SS	Liaison	Total	%
Saturday	5SS	27.22	126.12	153.34	17.8
Sunday	4SS	21.74	129.14	150.88	14.4
Total	9SS	48.96	255.26	304.22	16.1

付則 2



Route Map

0 500 1000 2000 2500

SS Start SS Finish Service Refuel

SS Course : Liaison :

付則 3

スタッドタイヤの使用について

2輪駆動の車両で参加される皆様はスタッドタイヤの使用を認めます。

2019年まではJAF国内競技車両規則 第2編 ラリー車両規則 第3章 6条によりスタッドタイヤの使用は規制おり、2輪駆動車は積雪の多いSSコースではタイヤチェーンを装着して走行しておりました。しかし走行中にタイヤチェーンが切れたり、外れたりと危険な状況での走行が幾度か確認されたため、2022年よりJAFに対し国内ラリーにおけるスタッドタイヤの使用に関する特認申請を提出し承認となっております。

スタッドタイヤの仕様下記の通りとしますので、参加を予定されている方は準備の参考としてください。

1. 使用タイヤ

日本の公道走行で走行可能なスノータイヤ。および規則書付則に適合するスタッドタイヤ。

使用予定のスタッドタイヤは、車検時にスタッドの形状および本数、突出量を確認する。

スタッドタイヤに関しては、コースの積雪状況により使用を競技長が禁ずる場合がある。

スタッドの突出量が規定を超えた場合は、次セクション以降の該当タイヤの使用を禁ずる。

2. 使用本数

タイヤ使用本数は特別規則書に記載の通りとする。

ラリー中に使用を許されるスタッドタイヤ

ラリー中に使用が許されるスノースタッドタイヤは下記のように許可される。

タイヤのスタッド数は円周上のどの部分でも10.0cm当たり20個を超えてはならない。

使用を許されるスタッドの細則

1. スタッドは、中実、円筒形状、かつ、平坦にカットされていること。
2. スタッドの横断面は、いかなるところでも円周形状であること。
3. スタッドの材質は、単一素材であること。
4. スタッドの先端部の最小径は2.5mm、かつ、円筒形で平坦にカットされていること。
5. スタッドの全長は20mm以内。
6. スタッドの重量は4グラム以内。
7. スタッドの形状寸法は付則図に記載の寸法を超えるものであってはならない。
8. 最大突出量は、ブロック表面から8.0mm以内とする。
9. スタッドは、タイヤ外側からマウントされていること。
10. トレッドを貫通するスタッドは認められない。
11. 車検もしくは再車検時に、少なくとも1本のスタッドを抜いて形状および寸法を確認する。

